

# 「地域健康づくりデータベース」の 構築

福岡県北九州市

## 【結果概要】

### 1. 事業名

「地域健康づくりデータベース」の構築

### 2. 事業実施期間

平成15年12月15日から平成16年3月31日まで

### 3. 事業の目的

- ①効果的・効率的な健康づくり・介護予防施策の推進
- ②医療機関受診状況等の諸要因を考慮した介護保険給付のアウトカム分析等に活用できる基本的なデータベースを構築する。

### 4. 事業の結果概要

健康診査データ、介護保険の要介護認定・主治医意見書・訪問調査・レセプトデータ、国民健康保険のレセプトデータ等を結合したデータベース「地域健康づくりデータベース」を構築した。

## 【事業実施結果の評価】

### 1. 事業実施結果のまとめ

健康診査、介護保険要介護認定・主治医意見書・訪問調査・レセプト、国民健康保険レセプト等、合わせて約1630万件のデータによるデータベースを構築した。

### 2. 施策への反映（政策立案への提言等）

今後、データベースに蓄積したデータを、小（中）学校区別、男女別、年齢階級別、世帯類型別等に集計・分析することにより、データに基づく健康づくり・介護予防施策の企画立案・評価を行う。具体的には、平成16年度から、データベースを活用して、小地域（小学校区）単位の健康づくりモデル事業を行い、その後できるだけ早い時期に全市的な展開を目指す。

また、並行して、介護保険給付の適正化にも資するため、介護予防実証研究事業の評価に活用するとともに、介護保険給付のアウトカム分析の検討を進める。

### 3. 平成15年度事業結果を踏まえ、16年度への事業継続の必要性

（平成16年度継続事業分のみ）

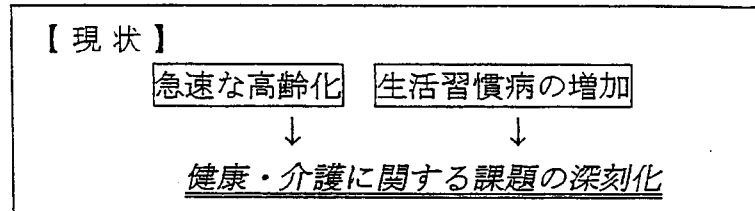
平成16年度については、地域健康づくりデータベースを活用した要介護度等の要因分析研究及び介護予防プログラムによる介入研究を実施することとしている。具体的には、

- ・性別、年齢、世帯類型、健康診査受診状況、医療機関受診状況、介護給付内容等と要介護度の変化等の関係分析
- ・骨関節系疾患を原因疾患とする自立非該当～要介護度1程度の高齢者に対して、筋力トレーニングを中心とする介護予防プログラムによる介入を実施し、事業評価を行う計画である。また、平成16年度以降も継続的にデータを蓄積していくものである。

（注）当該欄に記入困難な場合、任意様式で提出することも可能。また、参考となる資料があれば添付すること（ただし概要の域を超えない程度のもの）。

# データを活用した“住民主体”の「健康づくり・介護予防」の試み

～平成16年度 健康づくり・介護予防事業のポイント～



今後の方向性

市民の健康づくり・介護予防に向けた活動を活発に!!

【自分の健康は自分で守る!】

ポイント

- ① 市民福祉センターを中心とした、住民主体による健康づくり・介護予防
- ② 地域ごとの健康課題に応じた健康づくり・介護予防
- ③ データの活用による科学的根拠に基づいた健康づくり・介護予防

→ 「地域健康づくりデータベース」の活用

期待される効果

- ◇ 市民の健康増進・介護予防
- ◇ 住民主体の活動の活性化
- ◇ 地域の各組織の連携強化

⇒中長期的には 医療費・介護費の伸びの抑制

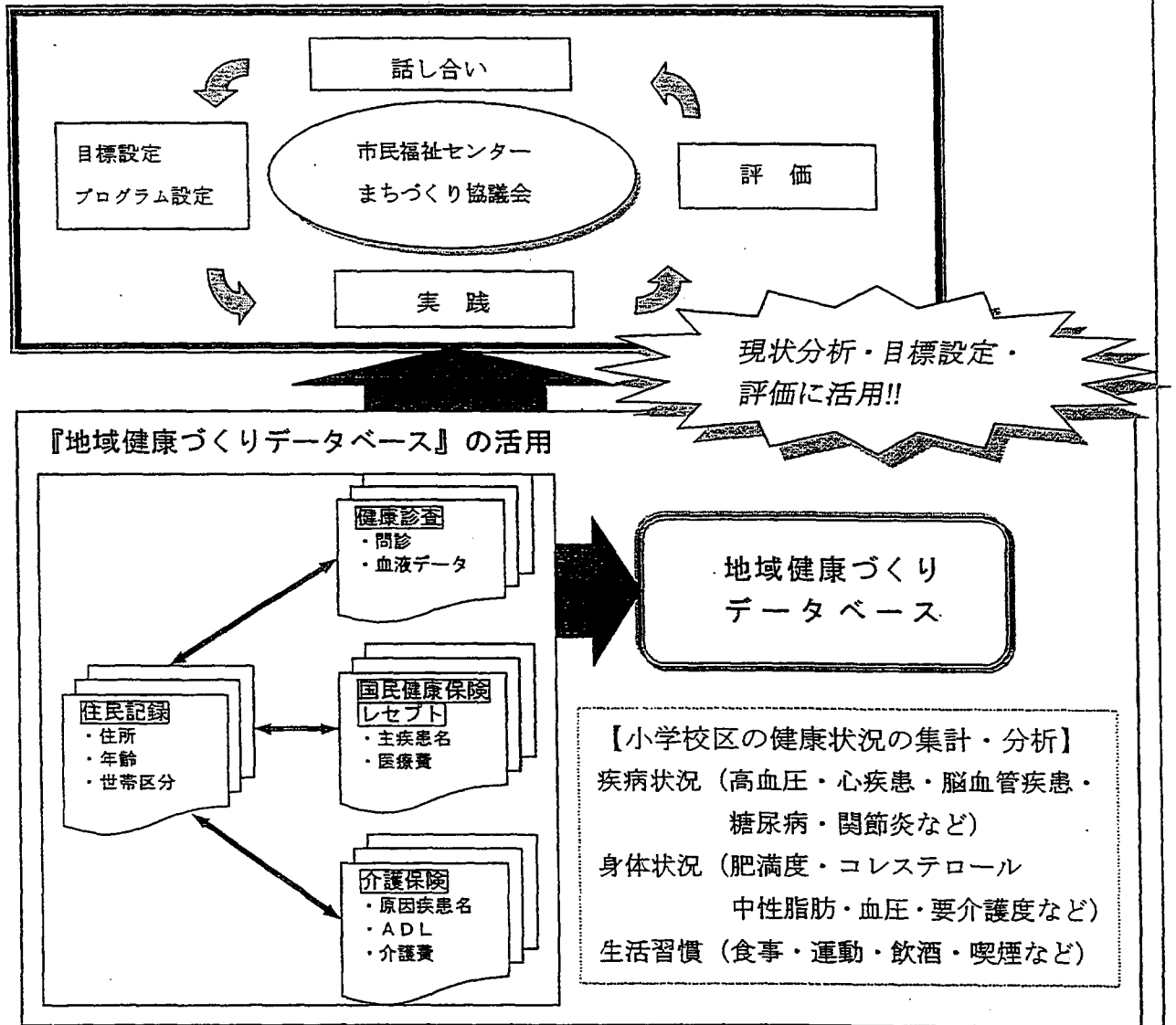
具体的な取り組み（イメージ）

1. 市民福祉センターを中心とした健康づくりモデル事業

■これまで行ってきた“市民福祉センターを中心とした地域づくり”をさらに進める形で取り組む

■地域での話し合い、目標の設定、目標を達成するためのプログラム設定、実践、事業評価をひとつのサイクルとし、まちづくり協議会・医師会・保健師・健康づくり推進員等が連携して実践

\*平成16年度は各区1ヶ所（計7ヶ所）のモデル事業



2. データを活用した要介護度等の要因分析研究及び介護予防プログラムによる介入研究

■地域健康づくりデータベースを用い、疾病状況、保健事業、介護保険・医療保険給付の利用状況等が要介護度等に与える影響等を分析することにより、介護予防施策の企画立案のために必要な基礎資料を得る

■骨関節系疾患を原因疾患とする自立非該当～要介護1程度の高齢者に対して、筋力トレーニングを中心とする介護予防プログラムによる介入を実施し、データベース等を用いて事業評価を行う